

【質問4】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島しょ公募に応募した理由・目的は、どんなことでしたか。	【質問】 実際に赴任して、その目的は達成できましたか。
大島町	主幹	男	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・島の宝である子供たちに、これまでの経験を生かした教育を行いたい。 ・子ども達と触れ合う時間を長くし、個を生かした教育の原点に立ち戻りたい。 ・島の自然を生かした、教育を行いたい。 ・50代で、ダイビングのライセンスを取りました。海の生き物には、かなり詳しくなりました。学校でも、大型水槽を設置し、海の素晴らしさを紹介しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が少なく、地域からも愛されている子供たち。児童一人ひとりと、じっくり語り合える時間が確保できます。海、山の様々な動植物と触れ合う機会を多く持ち、児童の個性を伸ばしているところです。教員にとってやりがいのある場所だと実感しています。
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ①区部や市部とまったく環境の異なる地域で生活する児童の教育に携わりたかった。 ②島嶼という特殊な環境に生きる児童が、どのようなことに興味を持ち、学習や生活を送り、どのような成長をしていくのかを知り、その児童たちにあった教育実践をしたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①携わってみて、海に囲まれ町の中で協力し合い生きる人たちの中で生きる児童は素直にまっすぐに育っていた。その子たちが、今後都内や日本中、また世界へ巣立っていくためにはどうすればよいかを考え教育に携われるようになった。 ②島嶼という環境は自然や人への興味関心を高く持っている人たちに溢れている。だからこそ、児童もその中で育ち、素直に人と接することを大切にしている。学習面での定着が低いと思われがちだがその素直さを土台に、教育活動をより先進的に進めることで大きな伸びが期待できることを実感している。「海に囲まれた島嶼部の児童だからこそ、相手は世界である」との視点に立って教育を行っていくことに使命を感じている。 ③育児については、保育園が待機児童0の状態にあり、とてもありがたい。 ④地域行事も盛んで夏には盆踊りや花火大会、冬には椿祭りなど地域が活性化するイベントがたくさんあり、大いに楽しめる。 ⑤「大島は夏の島」といえるほど、夏のレジャーには事欠かない。海や町営プールなど育児をしながらも混雑することなく、移動にも戸惑わず楽しめる場所がたくさんある。
大島町	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> ①島の特色を生かした教育活動 ②小規模校、単学級による深い児童理解 ③豊かな自然の中で日々を過ごすことができる ④ダイビング、サーフィンなど余暇を過ごすにあたっての条件のよさ ⑤人混みや電車が苦手 ⑥時間に追われる生活からの解放 	<ul style="list-style-type: none"> ①実現→海や三原山を活用したふるさと学習(キャリア教育・総合) ②実現→児童の実態に即した教育…一人一人の児童に寄り添う学習活動 ⑤人混みで身動きが取れないことや満員電車などから解放され精神的な安定

【質問4】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島しょ公募に応募した理由・目的は、どんなことでしたか。	【質問】 実際に赴任して、その目的は達成できましたか。
大島町	主任	男	30代	前任校では、1クラス40人のクラス担任でした。「個に応じた指導」と言葉では理解していましたが、時間的に余裕がなく、日々の指導に追われる毎日でした。(算数の少人数指導の時ですら、1クラス27名だったので、一斉指導になりがちだったと思います。) <ul style="list-style-type: none"> ① 育児 ② 地域行事 ③ レジャー 	島しょ地区ということもあり、赴任してからは子供一人一人のレディネスを把握し、きめ細やかな指導ができるようになりました。子供たちの「やる気スイッチ」を押すために、日々教材研究に勤めています。 <ul style="list-style-type: none"> ① 育児・・・教職員住宅の皆で子育てをしているイメージです。 ② 地域行事・・・夏には各地でお祭りがあるので、連日子供を連れて行っています。 ③ レジャー・・・三原山登山(遊びに来た人には必ず登らせませす)海水浴(シュノーケルでもウミガメに会えます)
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地教育の実態を知りたかった。 ・塾・受験がない子供たちを教えたかった。 	(どちらも)充分経験できている。
大島町	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都の中で様々な場所で仕事がしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内地にいる時と違って、自分の時間が増えた。増えた時間は海、読書等に使っている。
利島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ部における、図書館教育の充実 ・地域と密着した学校教育の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成できるよう、今までの取り組みや実践を教えていただいているところです。今後、達成に向けて努力していきます。 ・山に登ったり海で釣りをしたりと、島ならではの余暇の過ごし方ができています。 ・時間がたっぷりあるので、読書や勉強などにも時間を使いたいと思っています。
利島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ①小中連携の強化 ②個に合わせた指導方法 	<ul style="list-style-type: none"> ①中学校の先生とよく相談をし、一緒に授業をするので、達成できていると言える。 ②1クラスの人数が少ないので、よく児童を観察でき、個に焦点を合わせやすい。 ・現在、赴任して1ヶ月だが、PTA懇親会など地域と関わる食事会があった。余暇には、料理をじっくりと行う、釣りをする、山登り、散歩をするなどしている。
新島村	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・単学級経営をしたい。 ・10年間教職についてきた自分にどこまで力がついているか試したいという考えから。 	
新島村	主任	女	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となって子供たちを育てていく理想的な教育の在り方が島にはあると思い、それを体感したかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半分くらい達成できたと思うが、行事が多すぎ、もっと子供と向き合うという観点からの体感がしたかった。 ・不便な面はあるが、島の生活を楽しんでいる。校務に取られる時間が多く、工夫が必要。
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然を生かした体験的活動、自身の経験を生かした指導がしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大自然の中で子供を育てることができる。
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・島という特別な環境での教育に興味があった。 	

【質問4】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島しょ公募に応募した理由・目的は、どんなことでしたか。	【質問】 実際に赴任して、その目的は達成できましたか。
新島村	主任	男	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・畑での農作業、漁業の手伝いを授業に生かす。地域の人材としても活用する。 ・島民として受け入れてもらいたい。 	
新島村	教諭	女	20代	島という特殊な環境下で育つ子供たちの実態に興味があったから。	
新島村	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の教育活動に関われる。 ・地域の方との関りが多い。 	・今後いろいろな活動をしたい。
新島村	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと関わる時間をいっぱい取り、島ならではの体験をしたい。 ・のんびり過ごす。自分の時間、教材研究の時間を多く取る。 	実際に都内の学校よりも子供たちと関わる時間を多く取ることができた。
新島村	教諭	女	20代	<p>学生時代からライフセービング活動を行っておりました。北区臨海学園の指導員スタッフを数年経験し、「自分の命は自分で守る」「仲間と助け合う」等の多くのことを子供たちに体験的な活動を通して学ばせることができるということを実感しました。「危ないから、海や川には近づいてはいけない」という指導ではなく、「水の中での身のこなし」を指導することで、自分や家族、友達を守ることができるということをもっと広めたいと思うようになりました。このライフセービング活動の経験を生かして、島の子供たちに何かできることはないかと考え、希望しました。</p> <p>私自身、海が好きなので、海が近くにある生活がしたいと思っていました。</p>	<p>式根島小学校では、「海遊びの日」という行事があり、ライフセービングスポーツの体験や、安全に海で遊ぶ方法について指導することができました。また、体育の担当ではなかったのですが、プールでの着衣泳の指導もさせていただきました。</p> <p>水質良好できれいな海に囲まれているので、シュノーケルでたくさんの魚を見たり、ボディボードで波乗りをしたりと、楽しく過ごしています。</p>
神津島村	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習が全てという島の現実にやり甲斐を感じた。10年目を終えたタイミングで、自分の力量を高める機会だと思い、応募した。 ・長男が誕生し、育児をする上で、自然に溢れた環境に魅力を感じた。 ・徒歩圏内に美しい海があり、夏は楽しみに事欠かないだろうと思った。 ・妻も島の小学校に勤務経験があり、理解を得られた。 	
神津島村	教諭	女	30代	「運動を通して、出来た時の喜びや運動の楽しさ、達成感を味わいたい。」また、「特別活動を通して、行事に参加する意味や役に立つ喜びを知る子を育てたい。」と思い、島しょ公募に応募した。	
神津島村	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ①神津島出身なので、島の子に教育をしたいと思っていた。 ②豊かな自然の中で、子育てをしたいと思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①達成できた。 ②達成できた。